

令和6年度横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会
議事録

開催日時 令和6年7月25日(木) 午前10時00分～
 会場 ウェルシティ市民プラザ3階 第1研修室
 出席者
 委員 磯崎順子、稲垣恭子、井上宜生、佐藤 廣、高宮光、
 中山直子、林但(敬称略、五十音順)
 事務局 川田 貴久江：健康部健康増進課長
 望月 由美子：健康部健康増進課 課長補佐(主査)
 広瀬 裕一：健康部健康増進課 課長補佐(主査)
 竹内 和美：健康部健康増進課主査
 桑畑 小夜：健康部健康増進課主査
 望月 朋美：健康部健康増進課主任
 福岡 明子：健康部健康増進課主任
 勝又 綾子：健康部健康増進課主任
 須藤 夏加：健康部健康増進課担当者
 庁内ワーキングメンバー(臨時出席)
 嶋村 由香里：健康部健康管理支援課主査
 一般傍聴人 0名
 欠席者 田中和美(敬称略)

- 1 開会 事務局(健康部健康増進課長)が司会となり開会した。
- 2 配布資料の確認
- 3 部会員の出欠について
- 4 本部会の流れについて事務局から説明
これより先は、部会長による議事進行で行われた。
- 5 議事

議事(1) 横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会細則の変更について

事務局より、資料1により、専門部会の名称を「横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会」より「健康推進プランよこすか専門部会」とすることについて説明した。

- ・部会長より、意見、質問等を求めたところ特に意見等はなく、名称変更について承認された。結果は保健医療対策協議会に報告し委員長に諮ることとする。

議事（２）食育推進検討部会の報告について

事務局より、資料２により、令和６年度食育推進検討部会について報告した。

議事（３）「健康推進プランよこすか（ダイジェスト版）」

事務局より、健康推進プランよこすか（ダイジェスト版）（以下、ダイジェスト版とする。）及び資料３により、ダイジェスト版について説明した。

ダイジェスト版には、行ってほしい行動とヒントをまとめた１２項目が記載されており、この１２項目を広く周知するために作成している動画を一部紹介した。動画は、市公式SNSで配信予定のため、LINE、X（旧ツイッター）への登録方法について説明した。

また、印刷したダイジェスト版については、健康増進課で実施している教室等で配布しており、各委員にも配布の協力を依頼した。

・ 部会長より、意見、質問等を求めた。

部会長 ダイジェスト版の部数はどのくらいか。

事務局回答 現時点で４,０００部ある。

部会長 市役所などに配架されるのか。

事務局回答 市役所や行政センターなどに配架している。

委員意見等・ダイジェスト版はホームページにも掲載されているか。学生に地域を知るといふことで紹介したいと思っている。また、この動画は委託などにより作成したのか。

事務局回答 ダイジェスト版は市ホームページに掲載している。動画は健康増進課の職員が作成している。

委員意見等・動画の時間はどのくらいか。

事務局回答 １分以内の動画となっている。

部会長 動画は１２あるということか。

事務局回答 今後作成する分も含めて１２となる。

委員意見等・スマートフォン用だから縦型なのか。

事務局回答 スマートフォンで視聴しやすいよう縦型にしている。

SNSで配信する動画はタイムパフォーマンスが重視されているため１分以内の動画としている。

委員意見等・健康推進プランよこすか４４ページに記載の熱中症関係の記載について、自分が研修などで話をするとき参考にしている。

事務局回答 ひと涼み運動については一昨年から実施しており、民間施設１８３か所で涼める場所を提供する運動を行っている。公共施設をはじめ、薬局、福祉施設、商業施設に協力いただいている。

議事（４）「健康推進プランよこすか事業計画一覧」について

事務局より資料４により、「健康推進プランよこすか事業計画一覧」「①栄養・食生

活」から「③休養・睡眠」について説明した。

なお、評価基準は、目標の達成率90%以上が「A」、70%以上が「B」、60%以上が「C」、それ以下が「D」となっている。

- ・ 部会長より、意見、質問等を求めた。

部会員意見等・資料4、36ページNo.28「自殺対策キャンペーンの実施回数」について担当課コメント欄に「永久久里浜駅」とあるが、「京急久里浜駅」の間違いではないか。他のページにも同様の記載がある。

事務局回答　ご指摘のとおりのため修正する。

部会員意見等・資料4、3ページのNo.45「食育推進キャンペーンの参加者数」について、令和6年度の目標が522人となっているが、正しいか。

事務局回答　記載の誤り。令和5年度の健康フェスタ参加者2,929人のうち522人が食育ブースに参加した。令和6年度の目標は令和5年度の目標と同数で、1,400人。

部会員意見等・資料4、5ページNo.27「学校体育施設の地域住民等への開放実施校数」について、先日スポーツ推進委員から学校をとおして、解放予定だったが夏休み中は中止になったと連絡があった。どういう運営になっているのか。

事務局回答　学校体育施設の地域住民等への開放については、スポーツ推進課で判断しているが、日本スポーツ協会で暑さ指数31以上になった場合には基本的に屋外の運動は禁止としている。学校ごとに異なる部分もあり、さらに利用する団体が判断すると聞いている。

部会員意見等・施設に直接運営について確認したほうが良いということか。

事務局回答　施設のほか、学校開放運営委員会に確認することもできる。

部会員意見等・夏休み期間中の学校体育施設の地域住民等への開放については、基本的には積極的に実施している。

部会長　体育館もか。

部会員意見等・体育館、校庭も含んでいる。高い頻度で使用されている。

部会長　夏休み中には先生も少ないと思うが、管理面は大丈夫か。

部会員意見等・基本的には利用する団体が管理する自主管理方式になっている。学校によっては難しいところもある。

部会長　利用率はわかるか。

部会員意見等・相当高いと思う。

・クラブチームなどで利用するということか。

事務局回答　クラブチームなども利用している。

部会員意見等・個人的な利用ではないと理解した。

・ラジオ体操実施状況を見回っているが、大変少ないと思う。自分が住

んでいる地域しかまだ見ていないが、以前に比べたら参加者は少ないように思う。それぞれの町内で子ども会などが主体的に実施していたが、子ども会自体がなくなっているところが自分の住んでいる地域の中でもいくつかある。現在の状況を記録して、スポーツ振興課に報告しようと思っている。

部会長 以前は子ども達と保護者が夏休みに参加していた印象だが、今は高齢者が1年をとおして実施しているのを近所でみかける。

部会員意見等・夏休み中実施しているところもあれば、夏休み中の前半、後半に数日のところもある。

事務局より資料4により、「健康推進プランよこすか事業計画一覧」「④飲酒」から「⑥歯・口腔の健康」について説明した。

・部会長より、意見、質問等を求めた。

部会員意見等・資料4、13ページのNo.8「オーラルフレイル予防教室参加者数」について、SNSでも周知しているということだが、40歳以上が対象か。

事務局回答 40歳以上の市民の方を対象としている。

部会員意見等・壮年期への働きかけが重要だと感じている。仕事や子育てで忙しい方が多く、自分の健康が後回しになりがちで、更年期になってからでは間に合わないこともある。商工会議所などと連携するなどして取り組めるとよいと思う。

・商工会議所では、健康について考えるきっかけづくりとしてセミナーなどを開催している。全社員に浸透していない部分もあるので、引き続き市と協力しながら取り組んでいきたい。また、受動喫煙については、飲食店のランチタイムなどで喫煙可能な店舗が結構ある。飲食店に理解してもらえるよう市と協力してもう少し積極的に働きかけていきたいと思っている。

事務局 受動喫煙については、お問い合わせも多い。指摘箇所について詳細を伺い、必要に応じて現地を訪問している。協力が得られれば、ポスター掲示や灰皿の設置方法についてご検討いただいている。

部会長 子どもが利用する店でも苦情があるのか。

事務局回答 過去の例では、店舗内ということではなく、学童に隣接する店舗の屋外ということはあった。屋外は、配慮義務の範囲のため、ご協力いただける範囲で対応いただいている。

部会員意見等・歯・口腔の健康については目標値が達成できている印象。資料4、13ページNo.9「オーラルフレイルの認知度」では、令和5年度目標が36.8%で実績が38.5%、令和6年度の目標が38.8%となっているがどのように目標を設定しているのか。

- 事務局回答 積み上げた実績値をもとに、目標値を設定している。
- 部会員意見等・特に力を入れている事業については目標値を高く設定することも考えられると思った。
- 事務局回答 目標値については、実績をもとにしているが、オーラルフレイルについては、各種イベント、健康教室等で力を入れて周知している。
- 部会員意見等・歯科医師会でも様々な取り組みをおこなっているためオーラルフレイルの認知度は上がっていると思う。
- ・幼稚園の保護者会の活動の中での話題として、コロナ禍に生まれた子どもが園児になっている状況で、歯科医師から口をぽかんと開けている子どもが非常に多いという話があった。口を開けていると顔の発達への影響や口内の乾燥により虫歯になるリスクもあるということだった。一過性のものであるが、マスク着用の弊害についてもう少し話題に上がってもよいと思った。
 - ・マスクが一番の原因だと思う。マスクを着用していて、口を開けている方が多く、園児だけでなく小学生も一緒だと思うので確かに増えている。
- 事務局より資料4により、「健康推進プランよこすか事業計画一覧」 「⑦がん」から「⑨食育の推進」について説明した。
- 部会員意見等・がん検診のところで、2年ごと、5年ごとなど分かりづらいため特定健診の案内に同封するようにしたということだったが、居住地の自治体では4月に世帯主宛に受診可能な健診の案内が送付されている。横須賀市では特定健診の案内の同封以外に実施しているのか。
- 事務局回答 対象者全員に個別通知というのは難しい状況で、40歳の方のみ、個別に通知している。その他の対象者については、市役所、行政センター、医療機関などに毎年一覧表の配布を依頼し、周知している。特定健診の案内に同封することについては、国民健康保険の40歳から74歳の方には個別で受診券を送付していたので、その方々に対して受診可能ながん検診の一覧を同封できるのではというところから開始した取り組みとなっている。
- 部会員意見等・よい取り組みだと思う。受診率が少しでも上がるとよい。個別の案内がある方がわかりやすいので、ぜひ今回の取り組みでどれくらい受診者が増えたか報告を待っている。
- ・資料4、16ページNo.7「医療保険非該当者の保健指導実施人数」について、該当者はどのくらいいるのか。
- 事務局回答 令和5年度の指導対象は38件。令和4年度指導実績は0件だったため、令和5年度実績は7件に伸びている。

- 部会員意見等・資料4、16 ページNo.18「健康教育に関する講演会の参加率」について、C評価になっているがどのような内容の講演会か。
- 事務局回答 今年2月に実施した講演会は、働きざかり世代に対して、心臓と睡眠の話をした。高齢者にも睡眠は課題となっているため、参加いただいた。
- 部会員意見等・講演会は何回か実施しているのか。
- 事務局回答 昨年度は健康づくり講演会を2回実施している。
- 部会員意見等・商工会議所でも健康経営を推進しているなかで、健康経営セミナーを年1～2回実施している。口腔ケアや睡眠などをテーマとしている。参加者は20名程度。
- 部会長 健康推進プランよこすか37ページにがん検診受診率23.9%と記載があり、資料4、15 ページNo.5「中学2年生を対象としたピロリ菌検査及び除菌治療の一次検査受験率」はC評価で受診率67.5%となっている。がん検診の受診率23.9%は6種類のがん検診の合算数値か。中学区2年生を対象としたピロリ菌検査の67.5%というのは非常に高い数値で、胃がんリスク検診受診率は4%となっている。他のがん検診も10%前後が多い。例えば大腸がん検診は16%、胸部検診（肺がん）11%、前立線がん検診5%、子宮頸がん検診9%、乳がん検診4%、これを合わせると23.9%なのかもしれないが、各がん検診をみると非常に低い。目標値は増加と記載があるが、もっとがん検診受診率を上げていかなければと思っている。
- 部会員意見等・がん検診の費用はどのくらいか。
- 事務局回答 市民健診で胃がんリスク検診1,360円（40歳以上）、大腸がん検診（便潜血）520円（40歳以上）、乳がん検診1,670円、子宮頸がん検診1,680円、前立腺がん検診730円。詳細は、後ほど一覧表を配布する。
- 事務局より資料4により、「健康推進プランよこすか事業計画一覧」「⑩心身の生活機能の維持・向上」から「⑬誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備」について説明した。
- 部会員意見等・シルバー人材センターでも年間をとおして複数回の研修を実施している。人気があるのは数値で示せる運動や測定で、参加者は平均して30～40名程度。また11の地域班がそれぞれの総会時に併せて口腔ケアやフレイル予防の研修を実施している。
- 1,200名強の会員がおり、健康診断の補助金も一部支給している。また余暇を利用していきいき教室等にも参加してもらおうよう働きかけ、会員が健康でいるための環境づくりを実践している。現在盛り上

がっているのはポッチャ。一度で終わるのではなく継続した取り組みを検討している。

部会長 測定が人気ということだが、例えばどんな測定か。

部会員意見等・握力、開眼片足立ち、指輪っかなど。介護予防に関するものを取り入れて実施している。

部会長 資料4、21 ページNo.1 「骨密度検診受診者数」について、評価がBだが、健診センター以外に各整形外科でも実施できるように医師会から要望が出ていると思う。実現すれば受診率が上がると期待している。

事務局回答 市民からも健診センターだけではなく、身近なところで骨密度の測定ができないかという声がある。健康増進課でもすぐに用意はできないが、骨の健康度を計測できる機械を国民健康保険連合会から借用して、イベントなど多くの方が集まる場所で、まずは骨密度に関心を高めてもらおうよう取り組んでいる。

事務局より資料4により、「健康推進プランよこすか事業計画一覧」「⑭子ども」から「⑯高齢者」について説明した。

部会員意見等・横須賀市では市立の保育園や幼稚園より私立を利用されている家庭が多い印象のため、その数値を何かしらの形で反映したほうが、実数に近い形で見ることができると思った。

事務局回答 その視点も含めて検討できたらと思う。

部会長 市立幼稚園は何園か。

事務局回答 現在、市立幼稚園は大楠幼稚園1園で、今年度末に廃園予定。

部会員意見等・シルバー人材センターの会員の中で、横須賀市主催の各地域で行われているフレイル予防教室にサポーターとして関わっている方もいるが、全体の人数は把握できていない。歯周病についての研修等も市内の大学にご協力いただき実施している。今後は継続した取り組みにつなげていきたい。持病を抱えて仕事をしている方も少なくない。最年長で90歳の方も仕事をしている。研修が会話の機会や生きがいにづくりに発展することを願っている。

・資料4、37 ページNo.56 「地域リハビリテーション活動支援事業における専門職派遣事業の実施団体数」について、各地域包括支援センターが集まり介護予防事業の展開について話し合う会議に出席する機会があった。包括支援センターによってはリハビリテーション職種の方が在職しているところもあり、介護予防事業計画や介護保険に関する計画とも関連するので、連携することで今後団体も増えてくると思った。

部会長 健康推進プランよこすか47 ページ取り組み分野「成人」の評価指標

「1日あたりの純アルコール摂取量 20g（日本酒 約1合、ビール 500ml）以下の割合」について、前計画ではビール中瓶（500ml）3本以上になると生活習慣病のリスクが高まると記載があったが、その記載はなくなったのか。

事務局回答 国の作成している健康日本 21（第二次）にて、主な酒類の換算の目安として「ビール（中瓶1本 500ml）」と記載があったため、そのように記載していた。現在の健康日本 21（第三次）では、目安の記載がなくなったため、それに合わせた。また、国が令和6年2月に公表した「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」の中に、飲酒量が少ないほど、飲酒によるリスクは少なくなる」等の記載があるため、今回のような記載とした。

部会員意見等・資料4、28ページNo.28「週報期間（6月、11月第3週）神奈川県内産物資の品目数が全品目に占める割合」について、数値が下がっている原因が、実施時期と収穫時期合致しないことや農業人口の減少の影響とあるが、4月、5月の給食の献立表では神奈川県産の豚肉としか記載がない。三浦半島で様々な野菜が収穫され、魚も獲れる。収穫が安定していないことが原因か。

事務局回答 横須賀市では、小学校、中学校でそれぞれ統一した献立となっている。小学校が17,000～18,000食、中学校が約9,000食で、まず量の確保が課題となっている。横須賀市内産では、安定的に使用できるのは11月から3月にかけてのキャベツ、それ以外の野菜は時期やタイミングが合わず厳しい。量が確保できずに一部の学校には使用できるが全校では使用できない状況。

部会員意見等・魚も難しいのか。

事務局回答 量の確保と保管の課題がある。給食の献立のタイミングで漁獲できるとは限らない。保管しておくのと保管料で価格が上がってしまう。

部会員意見等・シラスの釜揚げ等は、ある程度保存できると思うので、工夫して少しでも地場産の野菜を増やして、横須賀市ならではの給食が浸透していけば食育の面でも子ども達に意識付けができると思った。

部会長 学校健診に行くときは必ず給食を食べるようにしている。よく考えられている献立だと思いながら食べている。

ここより先の進行は、事務局が行った。

6 閉会 事務局（健康部健康増進課長）が司会となり閉会した。

横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会の議事録及び会議資料について、市政情報コーナーで公開し、それに伴い部会名簿に記載された内容で公開することを了承

願いたい。

また、本日いただいた内容は、健康増進計画・食育推進計画庁内ワーキングメンバーに報告するとともに、令和7年1月に開催予定の保健医療対策協議会に報告する。

(以上)